

長野県知事 様

令和6年度 長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和4年度から令和6年度	
会社名	株式会社 シガテクノス	
住所	〒392-0012 長野県 諏訪市四賀2334	
代表者名	代表取締役 松木 和彦	印
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	土木・営業部	
担当者名	長田 哲	
連絡先	TEL	0266-52-5620
	FAX	0266-58-6439
	電子メールアドレス	shigatec@po8.lcv.ne.jp
ホームページアドレス		

1 産業廃棄物3R実践方針

社員一人一人の産業廃棄物適正処理の認識を向上させ、さらに産業廃棄物の発生抑制及び再利用方法を現場毎検討する他リサイクル品を優先的に使用する。

実績値は工事の受注内容によって変動するが、全社員のリサイクルへの意識・取組は向上させたい。

2 基礎数値の把握

(1) 総排出量の推移 (t)・kg又はm³※採用した単位に○)

令和5年度	令和4年度	令和3年度
1055.01	603.08	2118.69

(2) リサイクル量の推移 (t)・kg又はm³※採用した単位に○)

令和5年度	令和4年度	令和3年度
1051.70	601.00	2114.40

(3) 売上高の推移 (円)

令和5年度	令和4年度	令和3年度
352,573,023	509,495,045	374,786,842

(4) 廃棄物処理 (リサイクルするものは除く) に要する費用の推移 (円)

令和5年度	令和4年度	令和3年度
117,900	82,500	158,730

※排出抑制に基づく費用軽減の取組みの成果を経年でみます。

(5) リサイクルに要する費用の推移 (円)

令和5年度	令和4年度	令和3年度
4,290,000	5,209,940	10,585,600

3 取組み目標及び過年度実績

※目標値の指標の設定は、協定期間中同じ考え方の指標を継続して使用してください。
 ※協定期間の年度ごとに記載してください。新規の協定締結者は、初年度分のみ記載してください。

(1) 排出抑制のための目標値及び過年度実績値

① 総排出量に関する目標値及び過年度実績値

(総排出量と売上高との相関により、減量化の成果(傾向)をみます。)

ア 総排出量 (t)・kg 又は m³※採用した単位に○) / 売上高 (円)

令和6年度 (当年度目標値)	令和5年度 (過年度目標値)	令和4年度 (過年度目標値)
0.000001	0.0000029	0.000001

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

令和5年度	対前年比	令和4年度	対前年比	令和3年度
0.0000029	△2.63%	0.0000011	▲19.6%	0.0000056

ウ ア以外の指標による目標設定※

平成 年度 (当年度目標値)	平成 年度 (過年度目標値)	平成 年度 (過年度目標値)

※排出抑制目標値については、総排出量/売上高を基本としていますが、これにより難しい場合や自社で決めている場合は、独自に定める指標により作成してください。
 その場合、指標の算出方法や考え方について下記に記載してください。また、業務内容別に目標設定を行うことも可能なので、自社の状況に応じて設定してください。
 その場合、適宜記載欄を追加したり、別添様式(任意)で記載するなどしてください。

独自に指標を定める場合の算出方法・考え方

--	--

エ ウの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

平成 年度	対前年比	平成 年度	対前年比	平成 年度

②廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用に関する目標値及び過年度実績値

（売上高に占める廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用の割合を見ます。）

ア 廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用（円）／売上高（円）×100（％）

令和6年度（当年度目標値）	令和5年度（過年度目標値）	令和4年度（過年度目標値）
0.01%	0.01%	0.01%

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

令和5年度	対前年比	令和4年度	対前年比	令和3年度
0.033%	△2.06%	0.016%	▲38.0%	0.042%

③リサイクルに要する費用に関する目標値及び過年度実績値

（売上高に占めるリサイクルに要する費用の割合を見ます。）

ア リサイクルに要する費用（円）／売上高（円）×100（％）

令和6年度（当年度目標値）	令和5年度（過年度目標値）	令和4年度（過年度目標値）
1.0%	1.0%	1.0%

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

令和5年度	対前年比	令和4年度	対前年比	令和3年度
1.21%	△1.18%	1.02%	▲36.1%	2.82%

(2) リサイクル率目標値 (%)

※リサイクル率は現地確認等で最終的なリサイクルを確認できる数字で記載してください。

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	令和4年度 目標値	令和3年度 実績値	令和2年度 実績値	令和元年度 実績値
コンクリート塊	100	100	100	100
アスファルト塊	100	100	100	100
木くず	100	100	100	100
汚泥	100	100	100	
全 体	100	100	100	100

(3) リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量 (%)

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	令和6年度 目標値	令和5年度 実績値	令和4年度 実績値	令和3年度 実績値
砕 石	50.00	76.62	47.65	61.08
アスファルト混合物	90.00	100.00	100.00	70.64
全 体	70.0	88.31	73.82	65.86

3 産業廃棄物処理責任者等

職	氏 名	職務内容
土木・営業部	長田 哲	産業廃棄物の管理責任者

*必要に応じ管理体制組織図等を添付してください。

4 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開

現場毎に掲示板を設置し、処分委託業者名・収集運搬業者名の 許可番号 及び排出産業廃棄物の種類を記載し 情報を公開する。

5 産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合のみ）

施設の名称	公開計画の有無	公開計画の概要又は公開計画無しの理由
	有・無	
	有・無	

6 処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画

区 分	廃棄物の種類	現地確認計画
中間処理場	コンクリート塊 アスファルト塊 木くず	産業廃棄物処理責任者が指名したものが 年に 1 回以上は処理場へ出向き、処理状況 リサイクル状況 の確認を行う。
最終処分場		

7 従業員教育（研修）計画

項 目	教育（研修）計画内容
社員教育	<ul style="list-style-type: none"> 発注者及び関係機関が実施する産業廃棄物に関する講習会に積極的に参加させる。 各現場の社内安全パトロール時に点検、指導を行う。 各現場の作業前ミーティング時にゴミの分別・減量化を周知する。

8 リサイクル促進に向けた取組み（計画段階、実施段階での工夫など）

<ul style="list-style-type: none"> コンクリート二次製品を積極的に使用し、型枠材の使用頻度を抑え、産業廃棄物の抑制に努める。 建設発生土は宅地造成の埋め立て盛土として活用する。 As合材、砕石においては発注者へ再生材使用の提案等を行う。
--

9 処理を委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底

委託処理した廃棄物が不適正に処理されたことが判明した場合、直に関係機関に連絡し、状況把握を行う。関係機関との連絡を密に行い、排出事業者として適切な対応をとる。

10 他の不適正処理を発見した場合の協力体制

<p>不法投棄物に対しては常に注意を払うよう社員へ周知し、発見した場合には速やかに関係機関へ連絡する。</p> <p>※一般廃棄物→市町村 産業廃棄物→県</p>

1 1 自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合のみ）

--

1 2 その他協定の目的達成のため、独自に取り組む事項

※環境認証制度等の取得※、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。

作業現場だけでなく、社内事務所においても 廃棄物の細分別、 再利用活動で廃棄物の縮減に取り組む。

*環境ISO 14001、エコアクション21等